



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2018
平成30年
8-20
No.552

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート



木島平村
稲泉寺の
大賀ハス

世界最古の花と言われる大賀ハス。2000年の眠りから覚めた古代花が、桃紅色の優美な花を咲かせ、訪れた県内外の人々を魅了していました。

木島平村にある稲泉寺は、開山400年を超える名刹。寺周辺の鑑賞池に植えられた約10万株の大賀ハスは、早朝に花開き、午後には閉じる可憐な花。1951年に大賀一郎博士によって発掘された弥生時代のハスの実は、北信濃の地で大輪の花を咲かせていました。

- 長野しんきん 月例調査レポート 2
- 企業アンケート インバウンド ② 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン 8
- 北信濃 江戸時代の風景 (49) 善光寺宿の間屋 10

あなたに元気、まちに活気。



長野信用金庫

概況 全産業

生産は2カ月ぶりの低下 前年同月比は22カ月連続の上昇

◇30年5月の長野県鉱工業指数

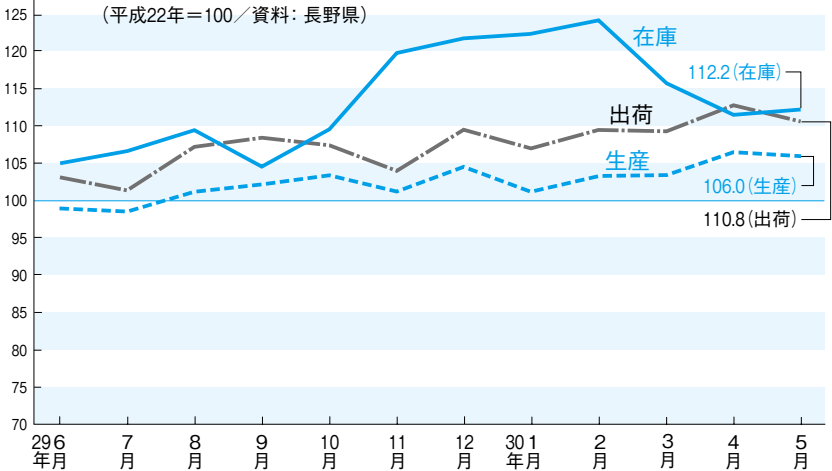
(速報：季節調整済指数)

生産は106.0(前月比▲0.5%)で2カ月ぶりの低下、出荷は110.8(同▲1.9%)で4カ月ぶりの低下、在庫は112.2(同+0.6%)で3カ月ぶりの上昇となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は103.6(前年同月比+9.3%)で22カ月連続の上昇、出荷は107.2(同+8.6%)で22カ月連続の上昇、在庫は113.4(同+10.2%)で7カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(平成22年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…電子部品・デバイス、化学、食料品など11業種
低下…電気機械、はん用・生産用・業務用機械、非鉄金属など6業種
- [出荷] 上昇…その他、金属製品、電子部品・デバイスなど7業種
低下…電気機械、はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械など10業種
- [在庫] 上昇…電気機械、食料品、紙・紙加工品など9業種
低下…情報通信機械、その他、電子部品・デバイスなど7業種

月例調査

全産業の「売上高」は横ばい

前回調査 平成30年5月

◇7月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業を除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(32

%)が1ポイント減少、「減少」割合(27%)が横ばい、「不变」割合(41%)が1ポイント増加し、全体としては横ばいの状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不变・減少」割合 矢印は前回調査比(3ポイント以上の動き) 改善 不变 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回			今回	改善	不变	悪化
	増加	不变	減少	増加	不变	減少	
全産業	33.2 →	39.9 ↘	26.9 →	32.3	40.9	26.8	208社(回収率83.5%) 30人未満 75.5% 30人以上 24.5%
製造業	42.5 ↘	37.0 ↗	20.5 →				73社(回収率84.9%) 30人未満 63.0% 30人以上 37.0%
建設業	31.8 ↘	42.4 ↗	25.8 →				66社(回収率90.4%) 30人未満 86.4% 30人以上 13.6%
卸小売業	19.6 ↗	47.1 →	33.3 →				51社(回収率91.1%) 30人未満 88.2% 30人以上 11.8%
サービス業	33.3 ↗	44.5 ↘	22.2 ↗				9社(回収率100.0%) 30人未満 77.8% 30人以上 22.2%
輸送業	20.0 →	30.0 ↘	50.0 ↗				10社(回収率90.9%) 30人未満 20.0% 30人以上 80.0%
外食業	36.4 ↗	36.3 ↘	27.3 ↘				11社(回収率91.7%) 30人未満 63.6% 30人以上 36.4%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」一般機械・電気機械・自動車部品が増加するも、全体は減少

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(43%)が6ポイント減少、「減少」割合(21%)が1ポイント増加、「不変」割合(37%)が6ポイント増加し、全体としては減少の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	48.6	31.4	20.0
	今回	増加 42.5	不変 37.0	減少 20.5
食 料 品	31.6	42.1	26.3	
金 属 加 工	37.5	37.5	25.0	
一 般 機 械	44.4	44.5	11.1	
電 気 機 械	66.7	33.3	0.0	
自動車部品	0.0	50.0	50.0	
精 密 機 械	40.0	40.0	20.0	

[業種別] 増加…一般機械・電気機械・自動車部品
減少…食料品・金属加工・精密機械

[機械稼働] (前回比) 稼働率 上昇

上昇割合 (19%) → 21%

下降割合 (12%) → 11%

[受注状況] 受注量(前回比) 減少

増加割合 (26%) → 18%

減少割合 (15%) → 13%

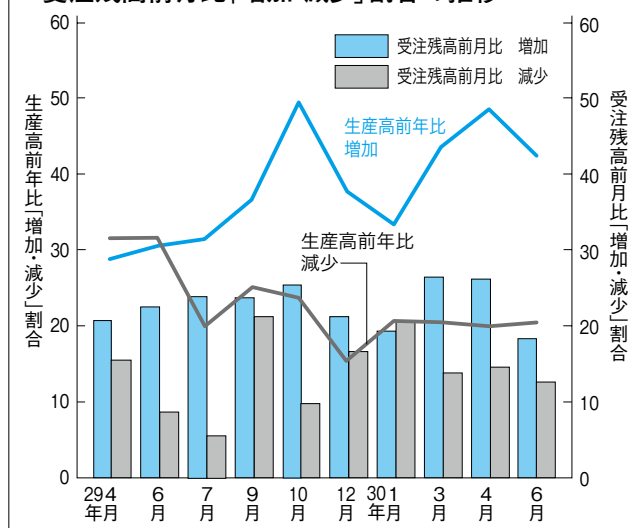
受注残高(1.7カ月) → 1.8カ月

[受注基調] (前回比) 下降

上昇割合 (32%) → 22%

下降割合 (15%) → 14%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(％/資料:当金庫)



企業からのコメント

☆★材料価格は下がるものが増えてきた半面、輸入果実はむしろ上昇するものが多い。

(農産物加工)

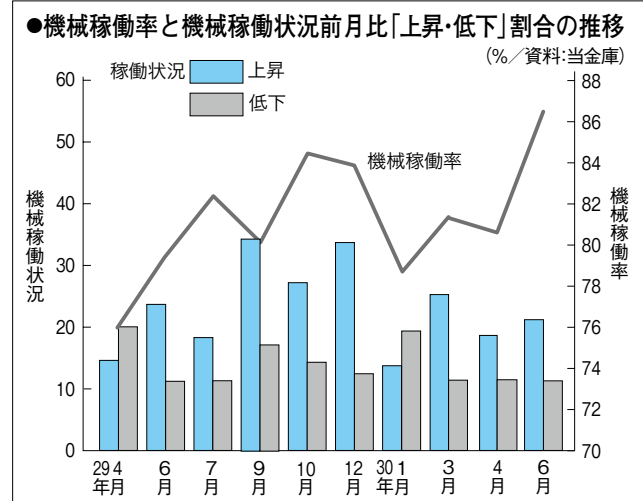
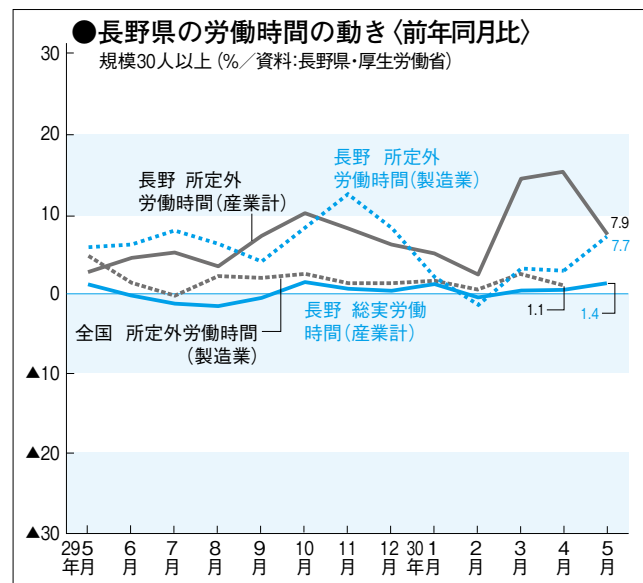
★運賃値上げと原料米の価格上昇で、粗利が減少傾向になってきた。

☆今年は猛暑が続き、「飲む点滴」といわれている甘酒の伸びが期待できそうである。(以上味噌)

★金属製品は引き続き鋼材が不足気味。電子部品は比較的安定しているが、エアコン関連は調整局面に入りつつある。(金属製品・電子部品)

☆★このところの受注は堅調であるが、米国との貿易摩擦が懸念される。(プロジェクター)

☆★半導体装置向け部材はまだ増加傾向にある。この先3～5年は増えるだろう。(石英ガラス)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」建築・各種設備が増加するも、全体は減少

概 況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(32%)が5割減少、「減少」割合(26%)が1割減少、「不変」割合(42%)が5割増加し、全体としては減少の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	36.5	36.5	27.0
	今回	増加 31.8	不変 42.4	減少 25.8
総合建設業	16.7	66.6		16.7
土木工事業	41.7	16.6	41.7	
建築業	30.4	43.5		26.1
各種設備業	40.0	50.0		10.0

【業種別】 増加…建築・各種設備

横ばい…土木工事 減少…総合建設

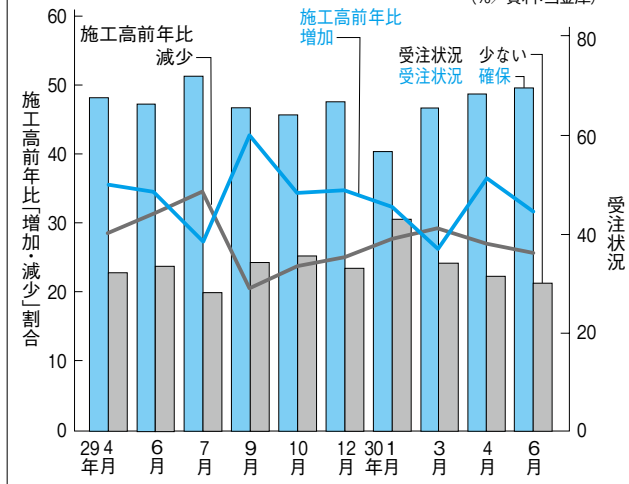
【受注状況】 受注残高(前回比) 改善

「多い・適正」割合 (68%) → 70%

「少ない」割合 (32%) → 30%

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移

(%/資料:当金庫)



企業からのコメント

★深刻な人手不足が続く中、特に職方(技術者)不足による工期延長が見られる。

★☆消費税増税を控えて、駆け込み需要が大いに気にかかる。

☆リフォーム工事がかなり多い。(以上総合建設)

☆★来期の増収目標の柱として、首都圏における受注活動に注力中である。(内装工事)

4～6月の公共工事 (東日本建設業保証取分)

長野県の4～6月の発注合計は、719.7億円(前年同期比▲16.1%)となりました。前年比プラスは「国」の155.1億円(同+15.7%)、「市町村」の223.1億円(+4.3%)で、マイナスは「県」の119.9億円(同▲4.3%)、「そのほか」の220.9億円(同▲42.5%)です。

北信地区市町村の発注合計は98.9億円(同▲8.3%)で、うち長野市は16.4億円(同▲51.0%)でした。

●建設業保証取分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(平成30年6月/30年4月～6月累計)

(単位=百万円/資料: 東日本建設業保証(株))

		30年6月	前年同月比	30年4～6月	前年同期比
長野県	国	5,128	35.2%	15,515	15.7%
	県	2,029	1.9%	11,989	▲4.3%
	市町村	6,428	▲11.4%	22,314	4.3%
	そのほか	1,002	▲76.8%	22,092	▲42.5%
	合計	14,644	▲15.7%	71,970	▲16.1%
北信地区	市町村	1,336	▲50.7%	9,893	▲8.3%
	(内長野市)	310	▲67.9%	1,637	▲51.0%

4～6月の新設住宅着工戸数

長野県の4～6月の新設住宅着工戸数は3,154戸(前年同月比▲1.0%)でした。持家が1,847戸(同▲3.6%)、貸家が903戸(同+1.5%)、分譲が397戸(同+5.9%)、給与が7戸(同0.0%)です。

北信地区の4～6月の新設住宅着工戸数は972戸(同+11.0%)でした。持家が522戸(同▲4.9%)、貸家が299戸(同+31.1%)、分譲が151戸(同+54.1%)、給与が0戸(同▲100.0%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数(平成30年6月/30年4月～6月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	6月	195戸	137戸	43戸	0戸	375戸
	(内長野市)	123戸	137戸	28戸	0戸	288戸
	前年同月比	4.8%	71.3%	7.5%	—	22.5%
	(内長野市)	15.0%	104.5%	40.0%	—	48.5%
	4～6月	522戸	299戸	151戸	0戸	972戸
	前年同期比	▲4.9%	31.1%	54.1%	▲100.0%	11.0%
長野県	6月	697戸	340戸	132戸	1戸	1,170戸
	前年同月比	▲2.9%	38.2%	3.9%	▲75.0%	6.8%
	4～6月	1,847戸	903戸	397戸	7戸	3,154戸
	前年同期比	▲3.6%	1.5%	5.9%	0.0%	▲1.0%

卸小売業

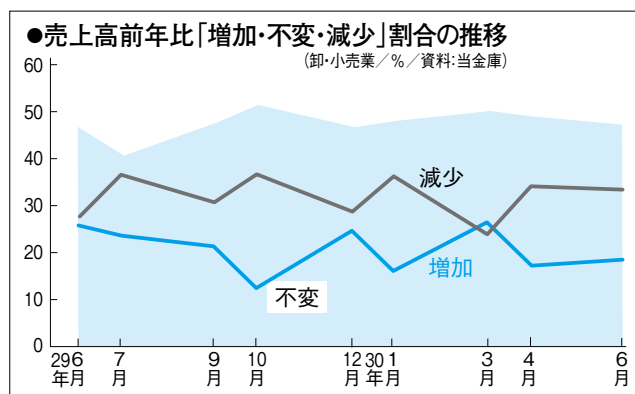
卸売業、小売業

「売上高」卸売は増加、小売は減少

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(20%)が3ポイント増加、「減少」割合(33%)が1ポイント減少、「不変」割合(47%)が2ポイント減少し、全体として売上は増加の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	17.0	49.0	34.0
	今回	増加 19.6	不変 47.1	減少 33.3
卸 売 業		28.6	47.6	23.8
小 売 業		13.3	46.7	40.0



【業 種 別】 増加…卸売業 減少…小売業

6月の消費者物価指数(長野市) 平成27年基準=100

◇総合指数(確報値)……101.5 (21カ月連続のプラス)

(前月比+0.1%、前年同月比+1.0%)

上昇…「家具・家事用品」「水道・光熱」「保健医療」
下落…「被服及び履物」「諸雑費」「食料」「教育」

◇生鮮食品を除く総合指数…101.5 (18カ月連続のプラス)

(前月比+0.2%、前年同月比+1.2%)

企業からのコメント

★異なる業態企業との競争が激化してきている。

(スーパー)

★組合エリアの4～6月の生コン出荷量は、前年比82%で、北信地域の仕事量は減っている。

(建設資材販売・工事業)

☆男性・女性関係なく、軽自動車人気が高まっている。

(自動車販売・整備)

☆★一般家電はメーカー出荷量を見ても動きが鈍い。

リフォーム関係の工事で売上をカバーしている。

(家電販売・電気工事)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービス・外食は増加、輸送は減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は19ポイント増加の33%、「減少」割合は8ポイント増加の22%、「不変」割合は27ポイント減少の45%と、売上は増加しています。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は横ばいの20%、「減少」割合は10ポイント増加の50%、「不変」割合は10ポイント減少の30%と、売上は減少の状況です。タクシーは減少、運送は増加の状況です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は27ポイント増加の36%、「減少」割合は9ポイント減少の27%、「不変」割合は18ポイント減少の36%と、売上は増加しています。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比26ポイントの減少、前年同月比も9ポイントの減少で、宿泊利用は伸び悩んでいます。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は36ポイント増加の50%、「引合いやや増加」は4ポイント減少の10%でした。

企業からのコメント

★県の入札制度の変更で、北信以外の地域の応札は厳しい状況である。(測量・建設コンサルタント)

☆女性一人での来店が増えてきた。非常によい傾向である。(和食)

★目的地として、志賀高原が選択されなくなっているように思う。(観光)

☆消費税への動きがある。特に低価格帯、ローコストの物件が動き始めている。(不動産)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	14.3	71.4	14.3
	今回	増加 33.3	不変 44.5	減少 22.2
輸送業	前回	20.0	40.0	40.0
	今回	20.0	30.0	50.0
うちタクシー業		0.0	100.0	
うち運送業		33.3	50.0	16.7
外食業	前回	9.1	54.5	36.4
	今回	36.4	36.3	27.3

売上に結び付ける取組 「取組んでいる」6%「取組む予定」7%

対応・取組内容 「外国語での案内」と「外国人スタッフ採用」 同率1位

企業アンケート インバウンド ② 30年6月調査

売上に結び付ける対応・取組 「取組んでいる」と「取組む予定」に答えた企業は合わせて13%でした。

対応・取組の内容 「外国語での案内」と「外国人スタッフ採用」がともに1位。「クレジットカード決済」「WEB・ホームページの多言語化」「SNSの運用」「Wi-Fi等の環境整備」が2桁となりました。

売上に結び付ける対応・取組

「取組んでいない」80%

「訪日外国人の増加を『売上に結び付ける対応や取組』をしているか」を聞きました。

「取組んでいる」(6%)と「今後、取組む予定あり」(7%)を合わせて13%の企業が「取組む」意思を表しています。「わからない」は5%で、「取組んでいない」は80%です。

従業員の規模で比べると、30人未満の「取組んでいる」(3%)と「取組む予定」(5%)を合わせた8%に対して、30人以上は16%と11%を合わせて27%と

3倍以上になっています。

業種別

サービス「取組んでいる」17%「取組む予定」9%
卸小売「取組んでいる」4%「取組む予定」10%

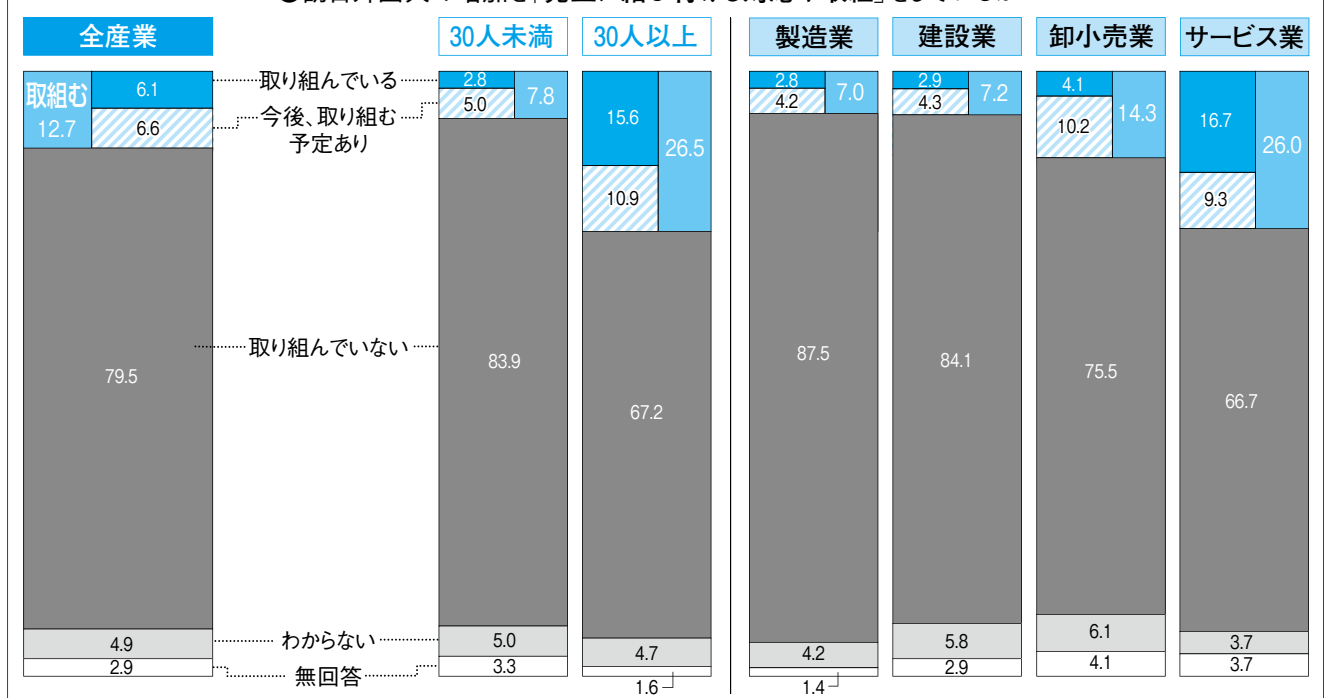
製造業「取組んでいる」(3%)と「取組む予定」(4%)を合わせて7%です。「取組んでいる」「取組む予定」ともに、他業種に比べて最も低くなりました。

建設業「取組んでいる」(3%)と「取組む予定」(4%)を合わせて7%です(製造業と同率)。「取組んでいる」「取組む予定」ともに、他業種に比べて最も低くなりました。

卸小売業「取組んでいる」(4%)と「取組む予定」(10%)を合わせて14%です。「取組む予定」(10%)は他業種に比べて最も高く、「わからない」(6%)も他業種に比べて最も高くなりました。

サービス業「取組んでいる」(17%)と「取組む予定」(9%)を合わせて26%です。「取組んでいる」

●訪日外国人の増加を「売上に結び付ける対応や取組」をしているか(%)



(17%)は他業種に比べて最も高くなりました。従って「取組んでいない」(67%)と「わからない」(4%)は他業種に比べて最も低くなっています。

対応・取組の内容

3位「クレジットカード決済」26%

4位「WEB・ホームページの多言語化」19%

売上に結び付ける取組をしている企業に「その内容はどんなものか」を聞きました。

「英語など外国語での案内(パンフレット・メニュー・利用ガイド等)」(29%)と「外国人スタッフ採用」(29%)が同率1位、「クレジットカード決済」(26%)と「WEB・ホームページの多言語化」(19%)、「SNSの運用」(16%)、「Wi-Fi等の環境整備」(10%)が2桁になりました。「海外展示会出展」は0%でした。

従業員の規模で比べると、30人未満は「外国人スタッフ採用」(43%)、「Wi-Fi等の環境整備」(21%)、「外国人向けウェブ・フリーペーパー等の活用」(7%)が30人以上より25~7割高くなっています。他方、30人以上は「クレジットカード決済」(41%)、「その他」(24%)が30人未満より34~16割高くなっています。

業種別

製造「英語など外国語での案内」40%

建設「外国人スタッフ採用」60%

卸小売「クレジットカード決済」43%

サービス「WEB・ホームページの多言語化」29%

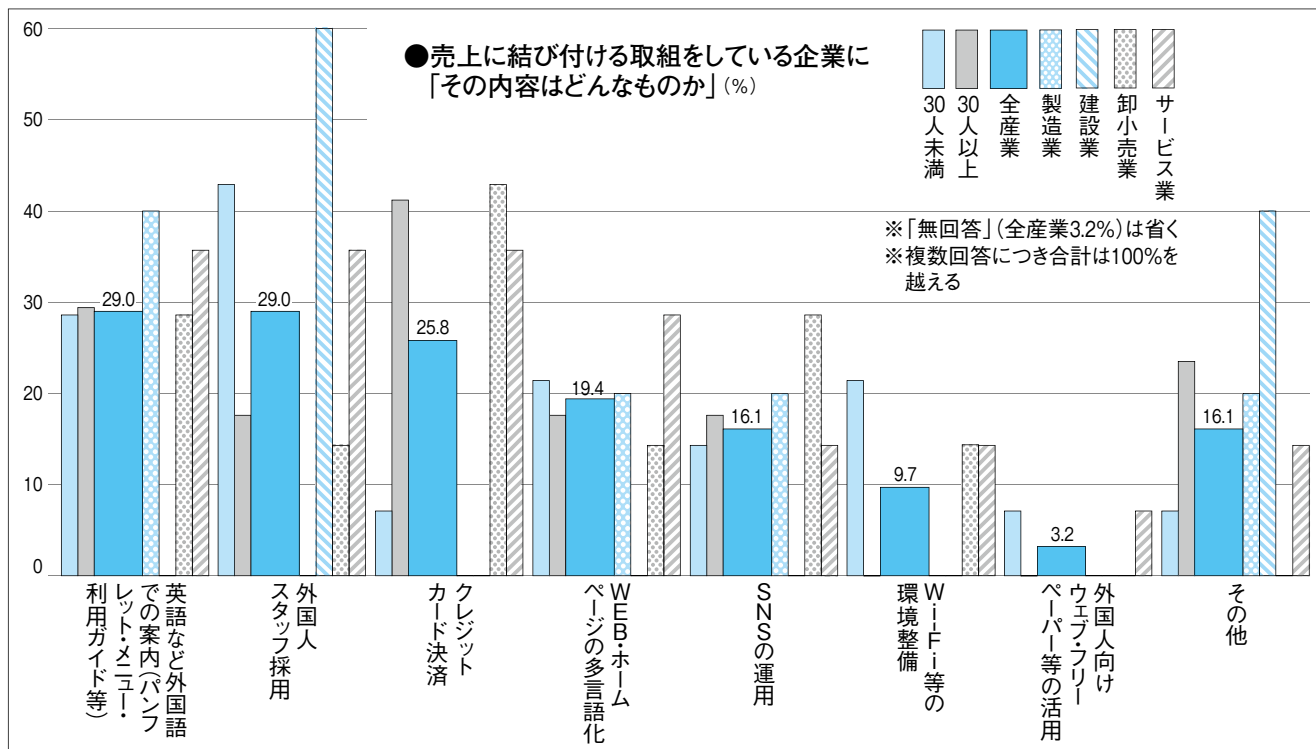
対応・取組の内容は、業種によって0%の項目が多いため、「最も低い」比較はいたしません。

製造業 「英語など外国語での案内」(40%)は他業種に比べて最も高くなりました。「WEB・ホームページの多言語化」「SNSの運用」「その他」がそれぞれ20%で、ほかは0%です。「その他」には、「グルテンフリー表記」の回答がありました。

建設業 「外国人スタッフ採用」(60%)と「その他」(40%)は他業種に比べて最も高くなりました。ほかの項目は0%です。「その他」には「新事業の展開」と「外国人が利用する施設の改修提案」の回答がありました。

卸小売業 「クレジットカード決済」(43%)、「Wi-Fi等の環境整備」(14%)は他業種に比べて最も高くなりました。「外国人向けウェブ・フリーペーパー等の活用」と「その他」は0%です。

サービス業 「WEB・ホームページの多言語化」(29%)、「Wi-Fi等の環境整備」(14%)は他業種に比べて最も高くなっています。「その他」には「英会話」と「人材不足のため雇用」の回答がありました。



インタビュー 変革期の経営ビジョン



生きた技術で未来を切り開く 社内一貫生産の技術集団

オリオンワイヤリング株式会社
代表取締役社長 小林厚視さま

●会社設立の経緯と業務内容をお聞きます…

当社の前身は1963年に設立された「(株)児玉製作所」ですが、1994年に「オリオン機械(株)」が資本参加、私は責任者として入社しました。以後、2011年に社長に就任、2013年には「オリオンワイヤリング株式会社」に社名変更し現在に至っています。業務内容は、一般機械の制御盤などのシステム製作、生産を主としています。制御盤には配線部分が不可欠であり「配線」、英訳すると「ワイヤリング」を社名に冠したわけです。

また、オリジナル製品としては、「真空パック・真空包装機」と称する食品包装機も手掛けています。

●オリジナル製品を作られた経緯などを…

昨今は、半導体・液晶の伸びが非常に大きいので、先々を考え、産業機器に食品・医療を加えたものを柱に推進してきました。取っ掛かりの製品として食品の真空包装機をオリジナルでできないかと考え取り組みました。しかし主体の顧客が半導体や液晶辺りの業界が多いものですから、伸びはそれほどとは言えません。

●顧客の注文から製品作りが始まるわけですね…

当社は一品物を得意にしています。特に食品では、往復40mのラインがあり、長いものは3カ月ほどかかります。ホームページ開設後は、引き合いや飛び込みが多くありますね。それまでは私が営業で回り、お客さまの要望をお聞きして設計と見積を提案していました。基本は県内でしたが、最近は新潟・山形から中京へと広がりをみせています。

当社へ注文するメリットは、設計から完成品まで一貫生産できることです。お客さまが一番困る

のは、パーツや技術を別々に頼むと、非常に手間がかかり、納期管理も大変になります。そこで「全てはお客様のために」をスローガンに、溶接、配線、板金などをまとめて頼めば、「完成状態でお納めします」を謳い文句にしています。良い意味で“丸投げ”してもらえばいいわけです。

●従業員教育や資格取得に関して…

当社は一品製作に取り組みますので、個々の社員のレベルで製品の良し悪しが決まります。個々のレベルをいかに上げるかが一番の課題ですね。

国や公的な試験に対しては、受験費用を基本的に1回目は全部会社負担していますが、2回目以降は、個人負担でやってもらっています。要するに、自分で技術を身に付けようとする意欲があれば、取っ掛かりの段階においては、会社が負担するというようにしています。

技術的な面は社内検定で、こういう仕事をやりたいという希望があれば、それに対する指導・教育訓練を実施。社内検定をパスすれば、その仕事に携わってもらいかたちで、個々のレベルを上げるようにしています。

●社員の年齢層や男女の構成比などは…

これまでは技術面を重視し、即戦力になる経験者を優遇してきたため、年配者の中途入社が多かったですね。最近は後継者の育成を考え、20代から30代前半の無経験者を採用する方向に変えています。また、機械加工のジャンルなので、男性が主体になっています。しかし女性で機械加工をやりたければ、それは全く異論がありません。現在、女性も組立が主体で、細かな配線加工が多いです。

●生産性向上のために取り組まれていることは…

最近の半導体関係は忙しく、小さな物から大きな物まで、少ロットのものが多くです。ほとんどが一品製作的なもので、月600件受注すると、生産管理が大変難しく、現在、その生産計画を「付箋を使ったアナログ方式の管理」で実施しています。まだまだ中途の段階ですが、これがきちっと出来ると、生産性がかなり上がるだろうと予測しています。

新しい管理手法による日産計画では、最終的には「生産性25%アップ」を目標としています。

●付箋を使ったアナログ方式の生産管理とは…

お客さまのご要望をそのまま受けると、日によってピークがものすごく高くなり、バラつきが大きくなります。生産側から見ると、いつも同程度の生産がキチッと出来る平準化が重要になります。昔は特にそうだったのですが、半導体は、急に増えたかと思ったらドンと減り、この管理が経営的にも難しかったわけです。

受注が増えると、日々の生産が非常に困難になり、間際になって、どうしても間に合わないケースが発生します。お客さまにご迷惑をかけないよう日産計画をきちんと立てなければならなかった。これがきっかけですね。付箋は市販のものではなく、いろんな情報を記入しますので、パソコンで当社オリジナルのものを作っています。

なぜ付箋かと言うと、パソコンは限られた人しか見られないから。要は「誰が見てもすぐ分かる情報」が必要なので、それを採用しました。遅れや変更が発生すると、ズラスなどの調整をしなければなりません。そんなことに対応でき、見たい時にいつでも見える、いわゆる「見える化」ですよ。極めてアナログの管理ですが、まさしく我々中小の“トヨタ生産方式”みたいなものです。そんな研修の指導風景をたまたま私が何かで見て、すぐに取り込むことにしました。その要は何かとい

うと、当社には「全てはお客様のために」というスローガンがあり、そうすることによってお客さまにご迷惑をかけないようになることです。

きちっと管理が出来ていると、受注の段階で管理表を見て「その日はもう一杯ですが、(それを前倒しした) 2日前にお請けできます」となればベストですよ。

●今後の方針や課題について伺います…

機械や物の生産を含めた業界でいうと、「三本柱」とよく言われますが、「医療」「産業機器」「食品」、の三本の柱を確立するのが課題ですね。これを一つの目標として進めていく必要があります。経営を主体にして考えると、ある程度の安定性を保つ要素になりますので。

「三本柱」はどの業界でも言われていますが、実際はなかなかできないのが実態のようで、究極の目標・課題なのでしょう。一貫生産を強みにして、継続して進めていかなければなりません。

前に述べたように「全てはお客様のために」というスローガンは、「丸投げ」してもらえば完成状態でお納め出来ます」を謳い文句にしているものですから、その辺を強みに推進しています。

生産性25%アップの目標については、当初、私は3年だと思っていたのですが、1年経過後の現段階では3~5%ぐらいで、徐々に上がってきてはいますが、本当の成果が出るのはこれからだと思います。工場のレイアウトを全部変えた段階で、15%程度にもっていき最終的には5年計画で25%アップを達成したいと考えています。



●事業の概要

設立 1963(昭和38)年
資本金 1,000万円
代表 小林 厚視
従業員 60名(男45・女15)
業務 各種産業機械の設計、製作、組立
事業所 埴科郡坂城町大字坂城9417番地
URL <http://www.orionwiring.co.jp>

●沿革

1960(昭和35)年 児玉製作所創立
1963(昭和38)年 「㈱児玉製作所」設立
2013(平成25)年 「オリオンワイヤリング㈱」に社名変更

北信濃 江戸時代の風景

(49) 善光寺宿の間屋

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



宿場の間屋とは

本年度は、文政10年(1827)に出版された広告集、『諸国道中商人鑑』(善光寺之部)の絵を紹介しています。今回は善光寺宿の間屋です。

宿場には本陣が置かれたほかに、間屋が大事な役割を果たしていました。街道は旅人のほかに、馬に乗せた荷物が行き来します。前の宿場から届いた荷物を別の馬に乗せ替え、次の宿場に送るのが間屋の役目でした。善光寺宿(長野市大門町)の間屋は、江戸時代の中ごろから大門町南部東側の小野家が務めていましたが、幕末には中沢家(五明館)に代わりました。

絵を読む

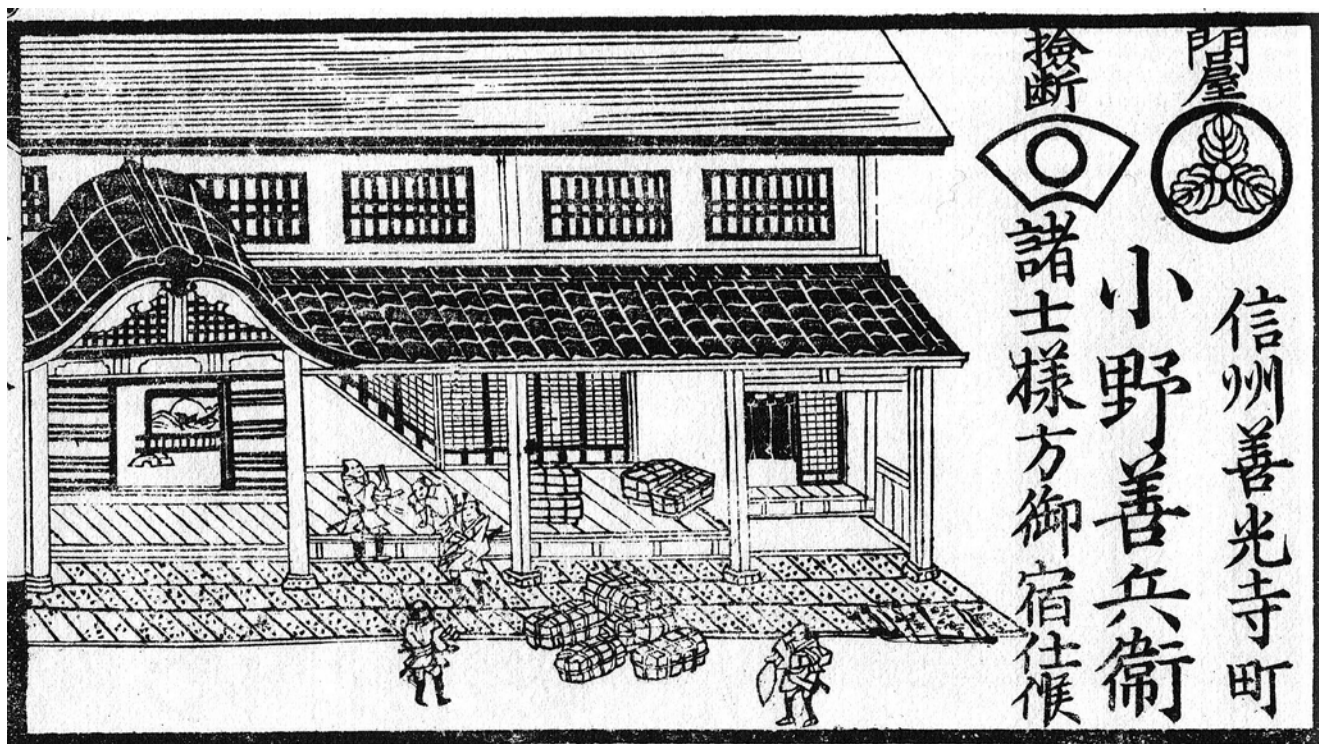
左下の絵は、『諸国道中商人鑑』に描かれた善光寺宿の間屋小野善兵衛の店頭です。二階建てで左側に立派な唐破風の玄関があり、格式の高さを誇っているようです。玄関の奥には、絵の描かれた

衝立^{ついで}が見えます。一般の入口は右側にあります。店内や店頭で荷物が積み上げられているのは、間屋ならではの光景です。

天保5年(1834)当時の小野家の平面図(小林計一郎著『長野市史考』)によれば、間口は7間4尺8寸(14.1m)ですが、奥行きが庭なども含めて31間7寸(56.6m)もありました。別に右隣には分家があり、奥には借家が建ち並んでいて、総面積は約450坪もありました。

絵の右側には「間屋」の文字の下に、丸に三つ柏の目印が描かれています。その左には「検断」の文字の下に、扇形に丸の目印があります。「検断」(検断)とは、一般的には庄屋や名主の上に置かれた大庄屋のことで、善光寺町では町年寄と呼ばれていましたが、小野家は特にそうした役ではないので、どういう意味かよく分かりません。

その下には、「諸士様方御宿仕候^{つかまつりそうろう}」と書かれています。旅籠^{はたご}ではないので一般の旅人は宿泊させませんが、武士は宿泊できるのです。



善光寺宿の間屋小野善兵衛の図(『諸国道中商人鑑』より)

小野家の歴史

善光寺宿の間屋を務めた小野家は、大門町の草分けと称する旧家です。代々善兵衛と称し、初代善兵衛は長篠の戦があった天正3年(1575)に没しています。先祖は武士だったらしく、松代藩士の小野家も同族とされています。文政10年(1827)に最後の問屋役となった善兵衛は、12代目でした。

小野家に伝来した古文書類は小野家文書として、現在長野県立歴史館に所蔵されています。

善光寺宿を通る荷物

越後から信州には、塩や、^{あいもの}合物と呼ばれた海産物が主に入ってきました。また佐渡の金銀も、善光寺宿を通して江戸に運ばれました。文政10年(1827)の記録によれば、善光寺宿の間屋から出た馬の数は、丹波島宿まで本馬1577、商人荷^{あらし}2708でした。新町宿(若槻地区)までは本馬935、商人荷385でした。本馬というのは40貫(150kg)までの公用荷物を積んだ馬です。北よりも南に向かう荷物が多かったことが分かります。このほか^{かじろ}神代宿(豊野)や長沼宿に向かう荷物も、商人荷を中心にたくさんありました。神代への荷物は飯山・十日町方面に、長沼への荷物は^{あいらち}大笹街道を経て関東方面に運ばれたのでしょう。

これらは間屋を経由した馬の数で、実際にはこの何倍もの荷物が間屋を通さずに往来していたとされています。

駄賃

馬による運送料を駄賃といいます。各宿場までの駄賃は、距離に応じて公的に定められていまし



旧善光寺宿問屋跡から見た大門町西側。熊野神社と長野信用金庫大門町支店がある

た。享和3年(1718)には本馬1匹につき新町まで43文、丹波島まで58文、長沼まで92文、神代まで107文でしたが、嘉永2年(1849)には新町まで62文、丹波島まで84文、長沼まで138文、神代まで154文と値上がりしました。

これは^{おさだめ}御定賃銭といって、役人などが通行する際の公定駄賃ですが、民間の荷物は^{あいたい}相対(交渉)で決めていたので、もっと高い駄賃となりました。大名行列なども一定数までは御定賃銭ですが、それ以上は相対賃銭となりました。

このほか幕府の重要な荷物などは、無賃で通すことになっていました。

中沢与左衛門

嘉永元年(1848)9月、問屋役は小野家から中沢家(扇屋・五明館)に移りました。明治維新により宿問屋の制度が廃止された中で、旧問屋の中沢与左衛門は中牛馬会社の頭取となって運送業の発展に尽力し、明治33年(1900)に長野商業会議所が設立されると初代会頭に就任しました。

9月号は「大門町の旅籠」の予定です。

●「外国人観光客を増加させる」方策

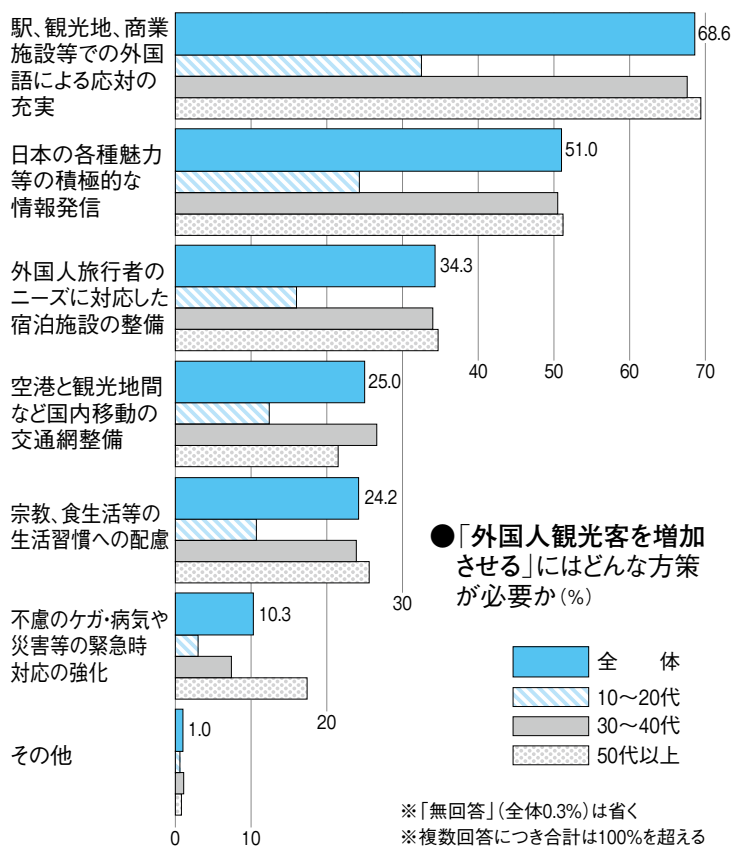
「外国語による応対の充実」69% 「積極的な情報発信」51%

「『外国人観光客を増加させる』にはどんな方策が必要か」を聞きました。

1位の「外国語による応対の充実」(69%)と2位の「日本の魅力等の積極的な情報発信」(51%)は過半数で、「宿泊施設の整備」(34%)、「国内移動の交通網整備」(25%)、「生活習慣への配慮」(24%)、「緊急時対応の強化」(10%)が2ケタとなりました。

30～40代が平均的で、10～20代は全般的に低くその約半数、50代以上は「緊急時対応の強化」(17%)が高いほかはほぼ平均的です。女性は「外国語による応対の充実」(73%)が、男性は「生活習慣への配慮」(28%)がやや高くなっています。

〈当金庫・30年6月調査〉



●みなさまの経営相談のご案内[9月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
9月 5日 水	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	9月 18日 火	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
6日 木	大豆島支店 (長池支店)		19日 水	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)
7日 金	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	21日 金	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
11日 火	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	25日 火	本店営業部	
12日 水	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	27日 木	本部	
13日 木	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	28日 金	本部	

●9月の「しんきん事業相談会」は9月5日(水)です

長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

●「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます●

